

第55回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

■ 日時：平成28年7月15日（金）15：50～16：00

■ 場所：特別室（本庁舎2階）

【鈴木副知事】

それでは、ただいまから、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。

まず、議題の一つ目、仮設・借上げ住宅の供与期間の延長について、避難地域復興局長。

【避難地域復興局長】

資料1を御覧ください。仮設・借上げ住宅の供与期間につきましては、全県一律で平成29年3月までとしておりますが、避難指示区域等においては、更に1年延長しまして、平成30年の3月末までとしたいと考えております。

延長の対象となる市町村につきましては、項目2に記載のとおり、檜葉町を含めた10市町村であります。

平成30年4月以降の延長方針ですが、昨年9月に避難指示が解除されております檜葉町につきましては、今回の延長をもって、原則として、供与を終了いたします。

その他の9市町村につきましては、避難指示解除の見通しや、解除後の住居確保の状況などを見据えながら、今後、判断してまいります。

なお、避難指示区域以外からの避難者に対する仮設・借上げ住宅の供与につきましては、特定延長を除いて、今年度末で終了することになりますが、住宅確保の見通しが立たない世帯などを対象に、戸別訪問を実施いたしまして、関係自治体と連携しながら、避難者の恒久的な住宅への移行が円滑に進むよう取り組んでおります。

今後とも、本県の復興・再生に全力で取り組むとともに、避難者の意向を尊重して、支援を継続してまいります。

【鈴木副知事】

これについて何か御意見・御質問ございますか。

それでは、この方針で進めていきたいと思っております。

知事お願いします。

【知事】

今後、次の段階に入っていくこととなります。引き続き、避難者お一人お一

人の思いを尊重しながら、きめ細かな支援が可能となるよう、全庁を挙げて取り組んでください。

【鈴木副知事】

それでは次に、報告事項、環境創造センターグランドオープンについて、生活環境部長。

【生活環境部長】

資料2-1を御覧ください。

原子力災害からの環境回復・創造の拠点としまして、整備を進めてまいりました環境創造センターが、来週の7月21日にグランドオープンいたしますので、御報告申し上げます。

本センターは、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流の4つの機能を持つ施設として整備を進め、昨年度には、三春町の本館、南相馬市の環境放射線センターを開所いたしまして、本年4月には、猪苗代町の猪苗代水環境センター、大玉村の野生生物共生センターを開所したところでございます。

この度、子どもたちの夏休みに合わせまして、来週21日に、環境や放射線について体験を通して学ぶ展示室や360度全球型の環境創造シアターを備えた交流棟「コミュタン福島」を開所いたします。これにより、平成25年度から整備を進めてまいりました環境創造センターの全ての機能が整うこととなります。

資料2-2を御覧ください。

グランドオープンに合わせまして、7月23日と24日、記念イベントを開催いたします。

記念イベントでは、科学に関する実験やワークショップ、環境問題に関する講演会、また、屋外特設ステージでのイベントなどを開催しまして、多くの皆様に御来場いただけるよう、準備を進めております。

今後は、本センターが環境回復・創造の拠点としまして、その機能が十分発揮できるよう、関係部局と連携して取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

観光交流局長お願いします。

【観光交流局長】

観光交流局から関連して御報告いたします。

観光交流局では、グランドオープンする環境創造センターを県外、小中学校の教育旅行先としても活用していただけるよう、働きかけてまいります。

教育旅行パンフレットを御覧ください。

まず、お開き願いまして、3ページの右下、環境創造センター、交流棟の概略を載せてございます。また、左側のページを更に開いていただきますと、4ページの中段に環境創造センターの見学をルートの最初に組み入れた教育旅行モデルコースを紹介しております。

このパンフレットは、30,000部印刷をいたしまして、教育関係者の会議や誘致キャラバンなど、様々な機会を活用いたしまして、本県の教育旅行における教育的効果の高さを直接伝えてまいります。

この他、県外の教育関係者、保護者向けのモニターツアーにつきましても、環境創造センターを組み入れて実施してまいります。

このように、環境創造センターを観光面でも積極的に活用して、教育旅行の回復に取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かございますか。

では、知事から最後をお願いします。

【知事】

「コミュタン福島」の展示等を通して、子どもたちを始めとする多くの皆さんに、放射線や環境に関する正確な知識の普及と、ふくしまの現状、環境回復・創造への取組を発信していくことは、福島県の復興・再生を進めていく上で大変重要であります。

県内の子どもたちはもとより、県外の子どもたちにも「コミュタン福島」に来ていただくため、県外小中学校の教育旅行先として活用していただけるよう、各部局が連携をして積極的に取り組んでください。

【鈴木副知事】

以上で復興推進本部会議を閉じます。